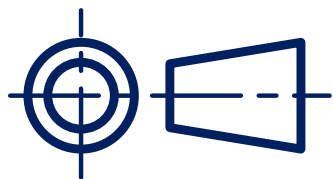


幾何公差を理解するための ボトルネックの解決3選

2025/5/24 日本設計工学会 第31回 設計フォーラム

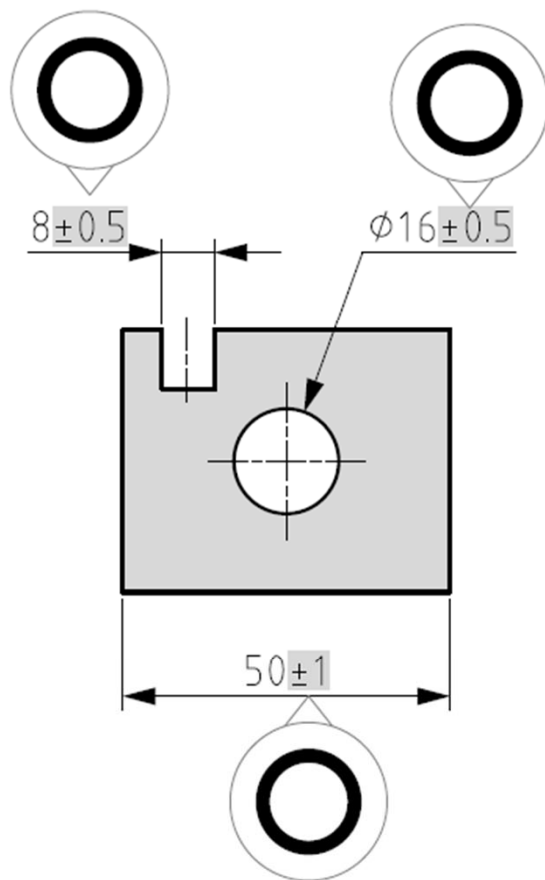


関東学院大学 鈴木伸哉

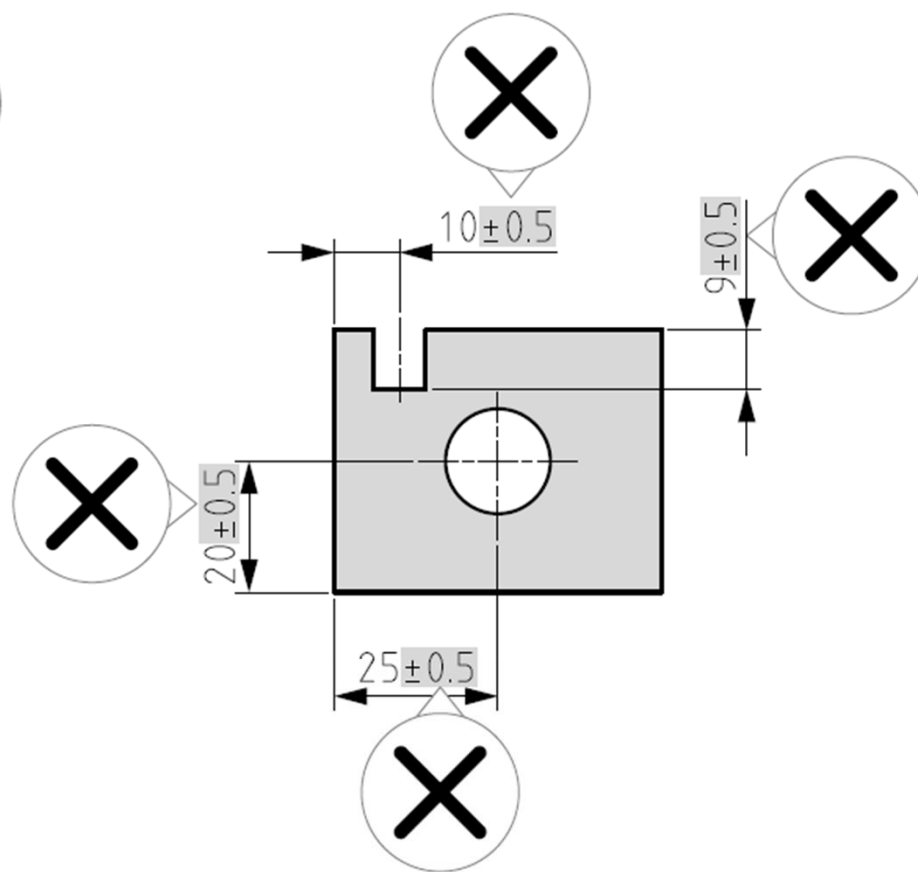
幾何公差を理解するための ボトルネックの解決 3 選

- ① サイズとは何か？
- ② ①M はなぜ必要か？
- ③ ？

サイズ公差（±）と幾何公差の使い分け

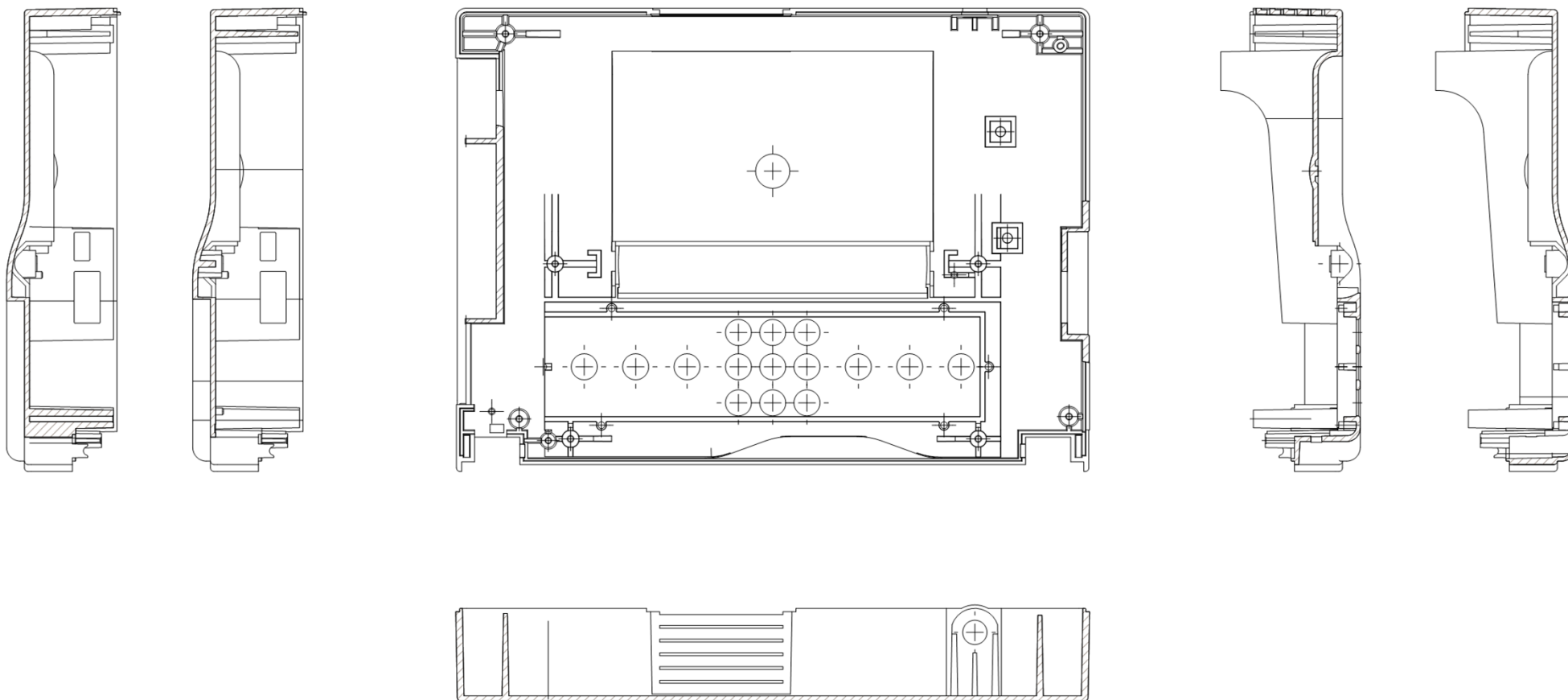


(a) 正しく設定されたサイズ公差



(b) 誤って設定されたサイズ公差

しかし、実際の部品の色々な形体（部分）について、サイズかどうか、判定できない



幾何公差を理解するための ボトルネックの解決 3 選

① サイズとは何か？

② ①M はなぜ必要か？

③ ？

①M はコスト削減のため？

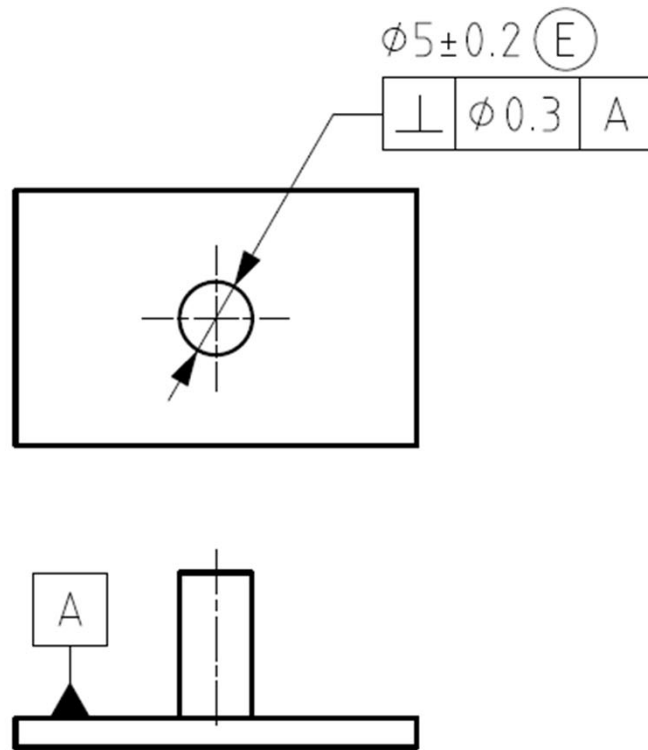


間違いではない
(いわゆるボーナス公差)

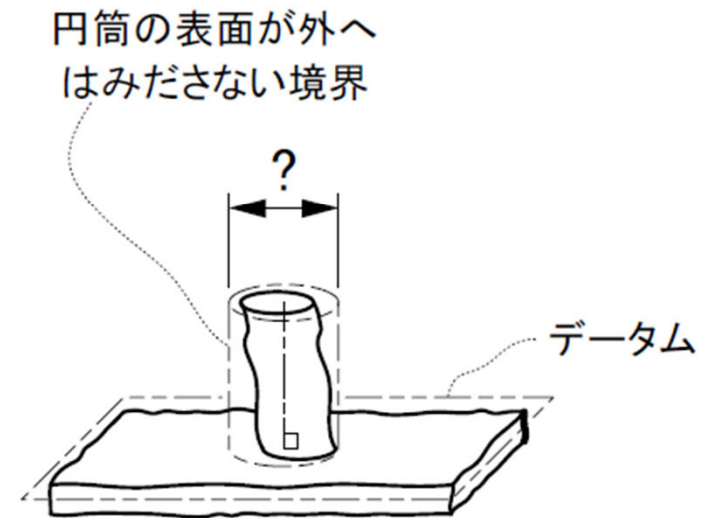
しかし、それが主ではありません。

(相手部品との組立てを考えて)

これ以上, 外にはみださない境界はいくつか?



(a) 図面の指示



(b) 外へはみださない境界

幾何公差を理解するための ボトルネックの解決 3 選

① サイズとは何か？

② ① はなぜ必要か？

③ ？